

令和4年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

ひまわり学級

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語 算数 日常	<p>○学習の定着については、個人差がある。</p> <p>○整理整頓や、食事については、学年の実態においても個人の差が大きい。</p>	<p>○指導内容の理解については、個別の困難さがあるので、確実に定着できるように繰り返し学習していく。</p> <p>○個別指導計画に基づき、家庭と連携しながら、日常生活の動作を身に付けられるようにしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年間において、個の実態の差が大きく、グループを組んで学習を進めても、それぞれの課題が異なっている。 ・45分間集中して学習することが難しかったり、学習の流れが違くと戸惑ったりする児童が多い。 ・一度覚えたことも時間が経つと忘れていくことがある。
体育	<p>○着替えや運動に対して、意欲的な児童とそうではない児童に分かれてしまう。</p>	<p>○児童同士と一緒に活動する楽しさを体感し、十分に体を動かす時間を確保する。学級全体や実態別グループ等、様々な学習形態で運動の目的を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として、個の実態の差がかなり大きい。 ・体を動かすことが好きな児童が多い。 ・ルールを守ることや勝敗を受け入れることが困難な児童がいる。 ・跳び箱運動や固定遊具を使った運動に苦手意識がある児童がいる。
生活 総合	<p>○自然や動植物に対する抵抗感が全体的に強い傾向がある。</p> <p>○興味をもってタブレット端末</p>	<p>○当該学年の活動や交流学級との活動で、校外での活動を通して、自然や動植物を大切にしようとする態度を育む。</p> <p>○初歩的なプログラミング操作やパワーポイント等で使うこ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学級の学級活動「お楽しみ会」等に参加し、楽しんで活動できる児童が多い。 ・学年課題学習として、該当学年の学習内

	の操作をする児童が多い。	とで、生活の幅を広げ、広い視野や社会に適応する力を身に付けさせる。	容から精選して指導しているが、理解力に差が大きい学年もある。
生活 単元 学習	○空間認知力や主体的なコミュニケーション力に大きな差がある。	○スウェーデン刺繍を主とした手指活動や、ルールを守って遊ぶ活動、コミュニケーション能力に必要な「見る」「聞く」「話す」力を高める学習活動を設定していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の様々な課題に応じて、学習内容を精選する。 ・自然や動植物とかかわる経験が少ない傾向がある。 ・手指の巧緻性を高めるための活動を多く取り入れる。 ・自分の思いを上手に伝えることが難しい児童が多い。 ・興味をもってタブレット端末を操作している。